



単元（題材）目標

- 関心のあることなどから話題を決め、必要なことを調べて要点をメモすることができる。
- 相手や目標に応じ、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、話し方の工夫を考えて話すことができる。
- 話の中心に気を付けて聞き、質問したり感想を述べたりすることができる。

(1) 実施時期

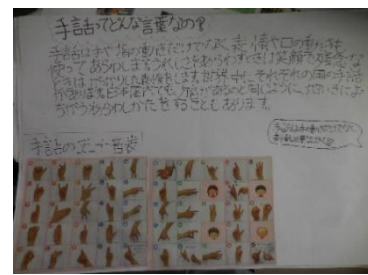
10月実施

(2) 対象（学年等・人数）

第4学年 110名

(3) 指導者（教諭・外部講師等）

第4学年担任 3名 国際教室担当 1名 図書館司書 1名



(4) 実施内容

- ①単元のめあてやポスターセッション形式で発表することを確認。
- ②資料「手と心で読む」を読み、筆者の書き方を確認。
それぞれで学習課題を設定。「手話、点字、盲導犬、パラリンピック」
- ③～⑥図書室の本やiPadを活用して、調べ学習。写真など資料集め。
- ⑦⑧ポスターにまとめる。
- ⑨話し方、聞き方のポイントを全体で確認。各自発表練習。
- ⑩⑪発表、聞き取りメモ学習
- ⑫友達の発表を通して、考えたことを交流する。



(5) 成果

〈子どもの学び〉

- 手話に興味をもち、自分の名前や簡単なあいさつができるようになった。
- 手話の学習を通して、口で話す以外のコミュニケーションを知った。
- 手話や白杖を使う人を町で見かけ、声をかける、点字ブロックに自転車を停めないなどの自分たちにもできそうなことをやってみようという意識を高めることができた。

〈子どもの感想〉

- 手話は世界共通ではなく、日本語や英語などのように各国の言葉ということを知って驚いた。
- 指文字以外で気持ちを表す言葉を知った。
- 手話に歌があることに驚いた。もっと多くの曲を知りたいと思った。